

(様式例㊦第5号の1)

平成 年産 収穫共済 半相殺特定危険方式・樹園地特定危険方式(樹種名) 連合会抜取調査野帳取りまとめ表・報告書(その1)

枚のうち 枚

県(都道府)農業共済組合連合会

共済事故等 による種別	方式	類区分	類	評 価 区域名		組合等名		階層区分名		組合等当初評価高の 面積又は樹園地数	a (園地)
組合等 の評価 地区名	組合員等氏名	抜取調査対 象樹園地の 地名地番	引受面積	基準収穫量 ①	組合等当初評価高			連合会抜取調査の結果			
					見込減収量 ②	分割減収量 ③	実減収量 ④＝②－③	見込減収量 ⑤	分割減収量 ⑥	実減収量 ⑦＝⑤－⑥	
			a	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
合 計				Σ①	Σ②		Σ④	Σ⑤		Σ⑦	

平均減収率		見込減収量修正率 ⑩＝Σ⑤/Σ② ×100	見回り調査により調整する場合		調整率 ⑪	決定見込減収 量修正率 ⑫＝⑩×⑪
組合等当初評価高 ⑧＝④/Σ①×100	連合会抜取調査の結果 ⑨＝⑦/Σ①×100		組合等の、半相殺方式にあつては2割、樹園地単位方式にあつては 3割を超える損害があつた全組合員等の被害樹園地の引受面積合計			
%	%	%	a		%	%

3部(控、都道府県、農林水産省) (A4判 横)

- (注意)
- この報告書は、「連合会当初評価高報告書」(損害評価要綱様式㊦第14号の2又は同号の6)に添付し、農林水産省に提出すること。
 - この表は、特定危険方式について、共済事故等による種別ごと、類区分ごと及び抜取調査対象樹園地ごとに取りまとめて記入すること。
 - 「組合等当初評価高の面積又は樹園地数」欄は、半相殺方式にあつては組合等当初評価高による2割超過の、樹園地単位方式にあつては組合等当初評価高による3割超過の被害面積又はその樹園地数を記入すること。この場合、収穫皆無樹園地を除くこと。
 - 「引受面積」欄、「基準収穫量」欄及び「組合等当初評価高」欄は、組合等から提出された資料から転記し、算定すること。
 - 減収率、修正率及び調整率は、小数点以下第2位を四捨五入して小数点以下第1位まで記入すること。

(様式例㊦第5号の2)

平成 年産 収穫共済 半相殺特定危険方式・樹園地特定危険方式 (樹種名)
連合会抜取調査野帳取りまとめ表・報告書 (その2)
枚のうち 枚

県 (都道府) 農業共済組合連合会

共済事故等 による種別	方式	類区 分	類	評 価 区域名	組 合 等名
階層区分名	階層区分別の組合等当初評価 高の面積又は樹園地数 ①			修 正 率 ②	左の加重値 ③ = ① × ②
	a (園地)			%	
合 計	Σ ①			④ = Σ ③ / Σ ① × 100	Σ ③

3 部 (控、都道府県、農林水産省)

(A 4 判 縦)

(注意)

- この報告書は、「連合会当初評価高報告書」(損害評価要綱様式㊦第14号の2又は同号の6)に添付し、農林水産省に提出すること。
- 「半相殺特定危険方式・樹園地特定危険方式連合会抜取調査野帳取りまとめ表・報告書(その1)」(様式例㊦第5号の1)から必要事項を階層区分別に転記して組合等の修正率を計算すること。
- 「左の加重値」欄及び「④」欄は、小数点以下第2位を四捨五入して小数点以下第1位まで記入すること。
- 損害評価要綱第3章第3節第1の1の(2)のイの(ア)の④のただし書により階層区分を行わない組合等については、本表を作成する必要はない。

(様式例[㊦]第 6 号の 1)

平成 年産 収穫共済 全相殺方式・災害収入共済方式（樹種名 ） 連合会全相殺等樹園地抜取調査野帳

												野帳 枚数	枚のうち 枚					
評 価 区域名			組合 等名			評 価 地区名			共済 番号			組合員等 氏 名			評 価 年月日	年月日	評価 者印	
類区分	類	災害の 種 類			災害発生 年 月 日	年月日	災害の 状 況											
引 受 状 況								配分基準収穫量	分 割 割 合					分割減収量				
樹園地の 地名地番	細区分	品 種	樹 齢	引受面積	引受本数	基準収穫量 ①	②	園地の 状 況	肥培管理 状 況	防除管理 状 況		合 計 ③	④＝②×③					
	群		年	a	本	kg	kg						kg					
	計（加重平均）																	
	計（加重平均）																	
合計（加重平均）																		

(A 4 判 横)

(注意)

- 1 この野帳は、全相殺方式及び災害収入共済方式について行う連合会全相殺等樹園地抜取調査に用いること。
- 2 評価者は、調査に先立って「全相殺等樹園地調査野帳」（損害評価要綱様式例[㊦]第 5 号の 3）から必要事項を転記すること。
- 3 「分割割合」の「加重平均」欄は、各細区分ごとの配分基準収穫量を重みとし、各細区分ごとの分割割合を加重平均して得た数値を記入すること。

(様式例㊦第 6 号の 2)

平成 年産 収穫共済 全相殺方式・災害収入共済方式（樹種名 ）連合会全相殺等樹園地抜取調査野帳取りまとめ表

類区分	類											評価区域名		組合等名		
組合等の 評価地区名	組合員等氏名	引受面積	基準収穫量	全相殺等樹園地（抜取）調査の結果					分 割 減収量	連合会全相殺等樹園地抜取調査の結果					備 考	
				分 割 割 合				減収量		分 割 割 合				分 割 減収量		
				園地の 状 況	肥培管 理状況	防除管 理状況	合 計			園地の 状 況	肥培管 理状況	防除管 理状況	合 計			
		a	kg						kg						kg	
合 計 (加重平均)									㊦						㊧	㊧/㊦×100%

(A 4 判 横)

(注意)

- 1 「引受面積」欄、「基準収穫量」欄及び「全相殺等樹園地（抜取）調査の結果」欄は、「全相殺等樹園地調査野帳」（損害評価要綱様式例㊦第 5 号の 3）から、
「連合会全相殺等樹園地抜取調査の結果」欄は、「連合会全相殺等樹園地抜取調査野帳」（様式例㊦第 6 号の 1）から転記すること。
- 2 「㊧／㊦×100」欄は、小数点以下第 2 位を四捨五入して小数点以下第 1 位まで記入すること。

(様式例[㊤]第 7 号)

平成 年産 収穫共済 半相殺減収総合方式・樹園地減収総合方式（樹種名 ）基準収穫量設定指数適用状況調査野帳

														野帳枚数	枚のうち 枚				
類区分	類						評価区域名		組合等名		評価年月日	年 月 日	評価者印						
組合等の評価 地区名	組合員 等氏名	樹園地 の地名 地番	細 区 分	品 種	樹 齢	引受 面積	組合等適用指数				連合会抜取調査の結果				損害評価実績				
							園地条 件指数 ①	肥培管 理指数 ②	隔年結 果指数 ③	指数の 相乗値 ④=①×②×③	園地条 件指数 ⑤	肥培管 理指数 ⑥	隔年結 果指数 ⑦	指数の 相乗値 ⑧=⑤×⑥×⑦	年	年	年	年	年
			群		年	a									kg (%)	kg (%)	kg (%)	kg (%)	kg (%)
			~~~~~																
			計																
~~~~~							~~~~~				~~~~~				~~~~~				
			計																
			計																
合 計									Σ ④				$\frac{\Sigma ⑧}{\Sigma ⑧/\Sigma ④} \times 100\%$						

(A 4 判 横)

(注意)

- 1 この野帳は、半相殺減収総合方式及び樹園地減収総合方式について行う基準収穫量設定指数適用状況調査に用いること。
- 2 「品種」欄、「樹齢」欄、「引受面積」欄、「組合等適用指数」欄及び「損害評価実績」欄は、「基準収穫量設定経過表」（損害評価要綱様式例[㊤]第 2 号の 1）から転記すること。

(様式例収第 8 号の 1)

平成 年産 収穫共済 全相殺減収総合方式（樹種名 ） 連合会出荷数量抜取調査野帳

評価区域名				組合等名				共済番号				組合員等氏名			
引 受 状 況					出荷先機関名		評価年月日		評価者印						
類区分	細区分	引受面積	引受本数	樹 齢											
類	群	a	本	年			年月日								
組合等の出荷数量調査の結果							連合会出荷数量抜取調査								
出荷量等			贈答用 等 の 数 量	貯蔵中 の減耗 数 量	出荷月日別出荷量等				贈答用 等 の 数 量	貯蔵中 の減耗 数 量					
出荷期間	出荷伝 票枚数	出荷量			出荷月日	出荷伝 票枚数	出荷量	仕向の 区 分							
月 日～月 日	枚	kg	kg	kg	月 日	枚	kg		kg	kg					
		(内訳)													
		生食仕向数量													
		kg													
		加工仕向数量			合 計										
		kg			(内訳)生食仕向数量				kg						
		その他仕向数量			加工仕向数量				kg						
		kg			その他仕向数量				kg						

(A 4 判 縦)

(注意)

評価者は、連合会出荷数量抜取調査に先立つて、組合等の「損害評価野帳」（損害評価要綱様式例収第 1 号の 3）から必要事項を転記すること。

(様式例~~収~~第8号の2)

平成 年産 収穫共済 全相殺品質方式（樹種名 ） 連合会出荷数量抜取調査野帳

評価区域名				組合等名				共済番号				組合員等氏名			
引 受 状 況						出荷先機関名		評価年月日		評価者印					
類区分	細区分	引受面積	引受本数	樹 齢											
類	群	a	本	年			年月日								
組合等の出荷数量調査の結果						連合会出荷数量抜取調査									
出荷量等				贈答用 等 の 数 量	貯蔵中 の減耗 数 量	出荷月日別出荷量等					贈答用 等 の 数 量	貯蔵中 の減耗 数 量			
出荷 期間	出荷伝 票枚数	積点又 は評点	出荷量			出荷 月日	出荷伝 票枚数	積点又 は評点	出荷量	仕向の 区 分					
月日～ 月日	枚		kg	kg	kg	月日	枚		kg		kg	kg			
(内訳)					合計										
生食仕向数量					(内訳)生食仕向数量					kg					
加工仕向数量					加工仕向数量					kg					
その他仕向数量					その他仕向数量					kg					
			kg												

(A 4判 縦)

(注意)

評価者は、連合会出荷数量抜取調査に先立つて、組合等の「損害評価野帳」（損害評価要綱様式例[㊤]第1号の3）から必要事項を転記すること。

(様式例[㊤]第 8 号の 3)

平成 年産 収穫共済 災害収入共済方式（樹種名 ） 連合会出荷数量抜取調査野帳

評価区域名				組合等名				共済番号				組合員等氏名			
引 受 状 況						出荷先機関名		評価年月日		評価者印					
引受面積		引受本数		樹 齢											
a		本		年				年月日							
組合等の出荷数量調査の結果								連合会出荷数量抜取調査							
出荷量等				贈答用 等 の 数 量	貯蔵中 の減耗 数 量	出荷月日別出荷量等					贈答用 等 の 数 量	貯蔵中 の減耗 数 量			
出荷 期間	出荷伝 票枚数	出荷量	出荷 金額			出荷 月日	出荷伝 票枚数	出荷量	仕向の 区 分	出荷 金額					
月～ 月	枚	kg	円	kg	kg	月日	枚	kg		円	kg	kg			
		(内訳)													
		生食仕向数量													
		kg													
		加工仕向数量													
		kg													
		その他仕向数量													
		kg													

(A 4 判 縦)

(注意)

評価者は、連合会出荷数量抜取調査に先立つて、組合等の「損害評価野帳」（損害評価要綱様式例[㊤]第 1 号の 4）から必要事項を転記すること。

(様式例(樹)第 1 号)

平成 年度引受 樹体共済（樹種名 ）連合会抜取調査野帳

																				野帳枚数	枚のうち枚										
										評 価 区域名				組合 等名				共済 番号				組合員等 氏 名				評 価 年月日	年月日	評価 者印			
引 受 状 況							損害通知（定期報告）					組合等現地評価の結果							連合会抜取調査の結果												
類 区 分	樹園 地の 地名 地番	細 区 分	樹齢及び その区分		引受 面積	引受 本数	一本当 たりの 共 済 価 額 ①	災害の 種 類	災 害 発 生 年月日	被害 状況	全損 本数	分損 本数	全損 本数	分 損		合計 本数	損害 額	分割 損害 額	分割 事由	損 害 本 数 及 び 全 損 換 算 本 数 の 別	損害程度別本数（損害程度の中央値・％）							損害額 ④＝① × Σ ③	分割 損害 額	分割 事由	
			樹 齢	樹 齢 区 分										全損本数 （損害程度 の中央値 100％	分 損 本 数						合計										
															90% 以上 (95%)							90%未満～ 80%以上 (85%)	80%未満～ 70%以上 (75%)	70%未満～ 60%以上 (65%)	60%未満～ 50%以上 (55%)	合計					
類		群	年		a	本	円		年月日		本	本	本	本	本	本	円	円		損害本数 ②	本	本	本	本	本	本	本	円	円		
																				全損換算 本数③＝ ②×中央値						Σ ③					
																				〃											
		計																			〃										
																					〃										
																					〃										
																				〃											
																				〃											
																				〃											
合 計																				〃											
																				〃											
																				〃											

(A 4 判 横)

(注意)

- 1 評価者は、評価に先立って組合等の「損害評価野帳」（損害評価要綱様式例(樹)第 1 号、第 2 号の 1 又は同号の 2）から必要事項を転記すること。
- 2 「全損換算本数（③＝②×中央値）」欄は、小数点以下第 2 位を四捨五入して小数点以下第 1 位まで記入すること。

(様式例~~樹~~第 2 号)

平成 年度引受 樹体共済（樹種名 ）連合会抜取調査野帳取りまとめ表・報告書
枚のうち 枚

県（都道府）農業共済組合連合会

												評 価 区域名				組合等名			
組合等 の評価 地区名	組合員等 氏 名	引 受 状 況			組合等当初評価高							連合会抜取調査の結果							
		面 積	樹園 地数	共済価額	被害 樹園 地数	全損 本数	分 損		合計 本数	損害額	分 割 損害額	被害 樹園 地数	全損 本数	分 損		合計 本数	損害額	分 割 損害額	
							分損 本数	分損換 算本数						分損 本数	分損換 算本数				
		a	園地	円	園地	本	本	本	本	円	円	園地	本	本	本	本	円	円	
合 計				①						②	③						④	⑤	

平均損害額率		損害額修正率	見回り調査により調整する場合		決定損害額 修 正 率
組合等当初評価高	連合会抜取調査の結果		組合等の1割又は10万円を超える損害があつた 全組合員等の引受面積合計		
⑥= $\frac{(2)-(3)}{(1)} \times 100$	⑦= $\frac{(4)-(5)}{(1)} \times 100$	⑧= $\frac{(4)}{(2)} \times 100$	⑨	調整率 ⑩	⑪=⑧×⑩
%	%	%	a	%	%

3 部（控、都道府県、農林水産省） (A 4 判 横)

(注意)

- 1 この報告書は、「連合会当初評価高報告書」（損害評価要綱様式~~樹~~第 8 号の 1）に添付し、農林水産省に提出すること。
- 2 「連合会抜取調査野帳」（様式例~~樹~~第 1 号）から必要事項を転記して取りまとめること。
- 3 損害額率、修正率及び調整率は、小数点以下第 2 位を四捨五入して小数点以下第 1 位まで記入すること。